

2021年 第68回応用物理学会春季講演会 シンポジウム(T-10)

EUV・軟X線イメージングの描く未来

3月18日(木)14時30分から：オンライン開催

進歩が緩やかであった極紫外(EUV)・軟X線イメージングの世界は、微細加工技術やPCの計算能力等の要素技術の進歩と、先進的なユーザーによる先駆的応用により、ここ数年急速にユーザーを増やしつつある。本企画では、要素・装置開発者とユーザーが同平面上でイメージング技術を議論し、関連コミュニティを活性化することを目的とする。

—招待講演— (予定:敬称略)

「EUVマスクブランクス検査装置における1200倍レビュー機能」
武久 究(レーザーテック)

「コヒーレント軟X線回折によるナノスケール磁気テクスチャのイメージング」

山崎 裕一(NIMS)

「放射光X線顕微鏡を駆使して火星隕石の変質史を紐解く」
菅 大暉(JASRI)

「リチウムイオン電池材料の放射光軟X線顕微・オペランド分光」
細野 英司(産総研)

「アンジュレータ放射の空間構造とその応用の可能性」
加藤 政博(広島大)

「高出力軟X線アト秒高次高調波光源の現状と展開」
高橋 栄治(理研)

一般講演も募集しています。

EUV・軟X線域の要素技術・利用研究に加えて、ユーザーからの期待・将来展望の観点からの講演も歓迎いたします。

ポリマーブレンド(PS/PMMA)のEUV透過像

世話人

豊田 光紀(東京工芸大)、大東 琢治(分子研)、原田 哲男(兵庫県立大)

問合せ先

Email: m.toyoda@eng.t-kougei.ac.jp , Tel: 046(242)9511